

今期業況天気図

今期業況天気図

期間：令和7年4月～6月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」で、総合業況DIは▲23と、前期▲24からわずかに改善した。業種別では、建設業が▲12（前期差6ポイント増）、飲食業・サービス業が▲22（前期差4ポイント増）、小売業・卸売業が▲22（前期差2ポイント増）とそれぞれ改善した。製造業は▲31（前期差7ポイント減）と悪化した。

持ち直しの動きが見られるが、全体として横ばいの傾向である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲11	▲17	▲6	▲18	▲7
採算	▲22	▲29	▲9	▲29	▲22
仕入単価	▲63	▲66	▲71	▲69	▲55
販売単価	20	18	25	31	16
従業員	28	15	41	24	31
資金繰り	▲18	▲20	▲9	▲22	▲19
今期業況 (総合判断)	▲23	▲31	▲12	▲22	▲22
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景観観測調査
快晴 DI値 31以上	晴れ DI値 30～11	薄曇り DI値 10～▲10	小雨 DI値 ▲11～▲30	雨 DI値 ▲31以下	<<景観観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考) 今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和6年7月～ 9月期					
2四半期前 令和6年10月～ 12月期					
1四半期前 令和7年1月～ 3月期					
今期 令和7年4月～ 6月期					

今期業況天気図

今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間:令和7年4月～6月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲28(前期差±0ポイント)で天気図は「小雨」。
建設業は▲9(前期差12ポイント増)、小売業・卸売業は▲28(前期差10ポイント増)で大幅に改善した。飲食業・サービス業は▲31(前期差3ポイント減)でわずかに悪化した。製造業は▲40(前期差9ポイント減)と大きく悪化した。
採算の悪化により製造業の不調が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲15	▲21	▲4	▲17	▲18
採算	▲26	▲37	▲7	▲33	▲28
仕入単価	▲61	▲65	▲71	▲63	▲52
販売単価	14	11	26	24	5
従業員	21	13	39	9	18
資金繰り	▲23	▲31	▲9	▲33	▲23
今期業況(総合判断)	▲28	▲40	▲9	▲28	▲31
今期業況 天気図					

今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間:令和7年4月～6月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲14(前期差3ポイント増)と若干の改善であった。天気図は「小雨」のままである。

飲食業・サービス業は▲11(前期差13ポイント増)で大幅に改善した。製造業は▲16(前期差4ポイント減)、小売業・卸売業は▲16(前期差4ポイント減)で若干の悪化であった。建設業は▲27(前期差23ポイント減)と大幅に悪化した。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲4	▲11	▲14	▲20	7
採算	▲17	▲16	▲23	▲23	▲14
仕入単価	▲65	▲67	▲73	▲77	▲59
販売単価	31	31	23	39	31
従業員	39	19	50	43	49
資金繰り	▲10	▲4	▲5	▲9	▲15
今期業況(総合判断)	▲14	▲16	▲27	▲16	▲11
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴 DI値 31以上	晴れ DI値 30～11	薄曇り DI値 10～▲10	小雨 DI値 ▲11～▲30	雨 DI値 ▲31以下	

次期見通し天気図

次期見通し業況天気図

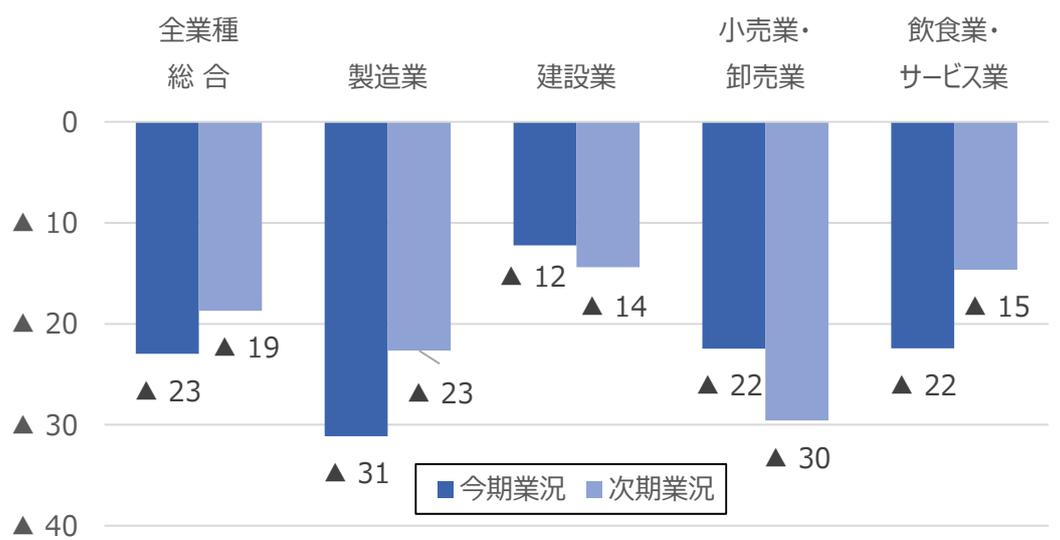
令和7年7月～9月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲19(今期差4ポイント増)で、天気図は「小雨」の見込み。
産業別にみると、製造業は▲23(今期差8ポイント増)、飲食業・サービス業は▲15(今期差7ポイント増)、と回復が見込まれている。一方、小売業・卸売業は▲30(今期差8ポイント減)、建設業は▲14(今期差2ポイント減)と悪化が見込まれている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 7	▲ 15	▲ 6	▲ 20	1
採算	▲ 18	▲ 25	▲ 10	▲ 31	▲ 13
仕入単価	▲ 48	▲ 52	▲ 58	▲ 51	▲ 41
販売単価	13	11	17	14	12
従業員	24	13	39	19	25
資金繰り	▲ 17	▲ 21	▲ 11	▲ 24	▲ 15
次期業況 (総合判断)	▲ 19	▲ 23	▲ 14	▲ 30	▲ 15
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下	<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考) 今期と次期の業況DI



次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和7年7月～9月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しは▲26(今期差2ポイント増)で、天気図は「小雨」の見込み。

産業別にみると、飲食業・サービス業は▲22(今期差9ポイント増)、製造業は▲36(今期差4ポイント増)と改善の見込み。小売業・卸売業は▲33(今期差5ポイント減)、建設業は▲17(今期差8ポイント減)と悪化の予想である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲14	▲26	▲11	▲19	▲5
採算	▲23	▲32	▲14	▲33	▲19
仕入単価	▲49	▲55	▲58	▲48	▲39
販売単価	7	3	15	7	4
従業員	19	14	37	9	14
資金繰り	▲23	▲34	▲14	▲30	▲19
次期業況(総合判断)	▲26	▲36	▲17	▲33	▲22
次期業況 天気図					

次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和7年7月～9月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しは、▲7(今期差7ポイント増)で、天気図は「薄曇り」の予測。

産業別にみると、建設業は0(今期差27ポイント増)、製造業は▲1(今期差15ポイント増)、飲食業・サービス業は▲5(今期差6ポイント増)と回復する見込みである。小売業・卸売業は▲25(今期差9ポイント減)と大きく悪化の予想である。

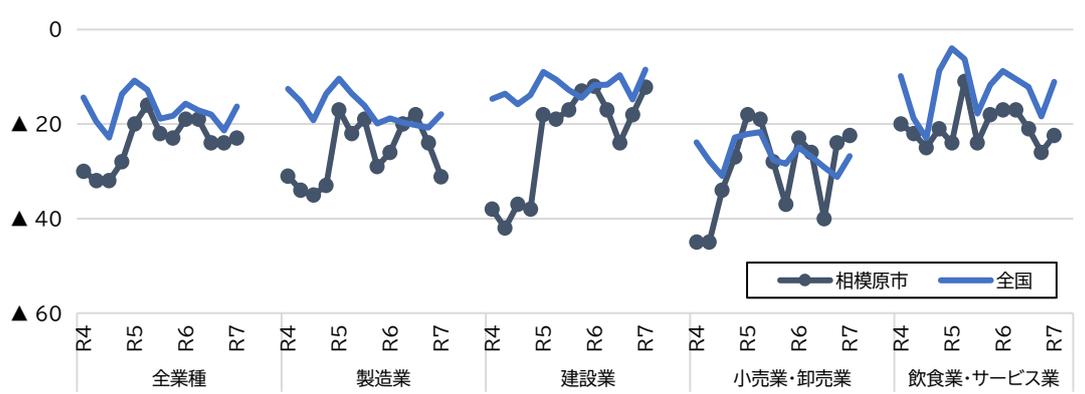
	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	4	4	23	▲23	10
採算	▲10	▲15	9	▲27	▲4
仕入単価	▲48	▲47	▲59	▲55	▲44
販売単価	24	23	32	23	24
従業員	32	11	50	32	41
資金繰り	▲7	▲1	5	▲18	▲9
次期業況(総合判断)	▲7	▲1	0	▲25	▲5
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期の景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴 DI値 31以上	晴れ DI値 30～11	薄曇り DI値 10～▲10	小雨 DI値 ▲11～▲30	雨 DI値 ▲31以下	

業況DI(前年同期比)の推移

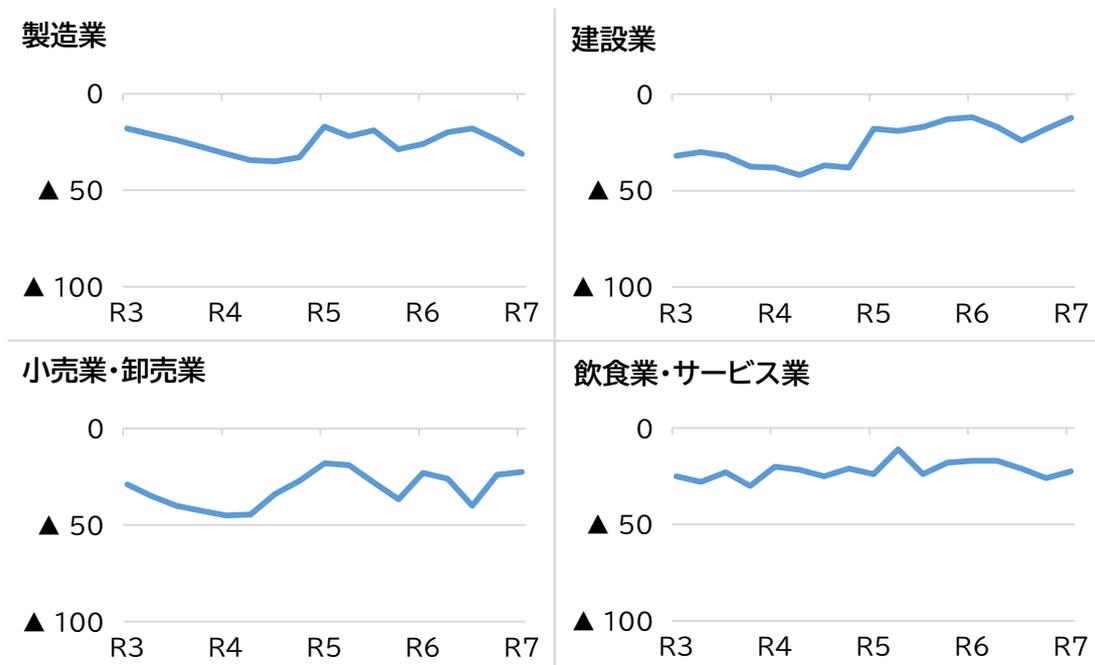
全産業の業況DIは、今期は▲23(前期差1ポイント増)で、前期とほぼ変わらなかった。
 産業別にみると、建設業は▲12とやや改善した。小売業・卸売業は▲22、飲食業・サービス業は▲22と小幅の改善であった。製造業は▲31と前期からさらに悪化した。
 全国と比較すると、小売業・卸売業は全国を上回っており、製造業と飲食業・サービス業は全国よりも低い水準にとどまっている。

(令和4年4-6月期～令和7年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI(特徴的なトピックス)

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・化粧品業界が不振だと聞いているが、春以降は、受注は戻ってきている。その他の分野では取引先の内製化や海外への移管でなくなる仕事がある。収益性悪化の主要原因は売上不振によるものだが、今後のリスクヘッジも考えて販路を開拓したい。受注単価も10%アップを目標に交渉予定。
【各種製品の加工、検査及び包装】
- ・受注先からの年間計画が出ているが、前半期は低調、後半期にずれ込み、様子見の状況が読み取れるので、先が読めない。トランプ関税がどのように展開されるか予想がつかないためだと思われる。
【自動車部品製造業】
- ・輸出関連が低調。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事】
- ・食材の値上り、米、のり、油他(異常といえるほど)。【弁当、総菜】

【建設業】

- ・月によって売り上げが上下し待ちの状況を今後は、好転させていけるような仕組みを考えなければ後々、事業を閉めなければならなくなりそうです。技術や納期短縮は従来とおりにできているので宣伝力もあげていけるようになりたい。
【木製建具・造作家具】
- ・現場管理者の不足。見積・契約等が電子に移行している為、年輩の社員は操作に馴染めない。提出書類についても同様で、操作が出来る者に集中してしまう傾向がある。
【電気設備工事】
- ・働き方改革、人手不足で、元請けゼネコンが受注をしぶり、見積もってもなかなか受注につながらない。
【管工事業】
- ・隣の町田市の公共工事が増加しつつあり、先行不明。
【鉄骨建築加工業】

【小売業・卸売業】

- ・インバウンドをターゲットにしている飲食店の好調ぶりが目立つ。
【青果物卸売、学校給食、病院食、飲食店など】
- ・中国の状況も日々変化している為、今後も注目しながら利益を狙っていきたい。
【中国輸出 中国輸入OEM】
- ・供給が安定しない医薬品が新規店舗にまわってこないため、処方箋を応需できないことで顧客を獲得できず逃してしまう。
【保険調剤、医薬品販売】
- ・オール電化、都市ガスが増え顧客減少、あと一番は老人世帯が多くなり子供が家を継がないことで空き家が増える一方。
【LP ガス、灯油、住宅リフォーム】

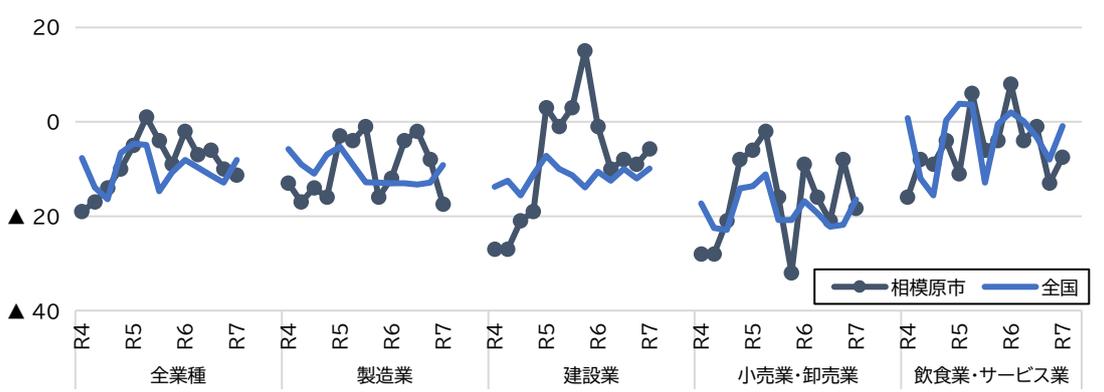
【飲食業・サービス業】

- ・4月から受注数が増えました。
【電気土工作物保安業務】
- ・客足は伸びている。客単価も悪くない。仕入単価、諸経費の増加が影響して、業績が好調とは言い難い。
【居酒屋】
- ・従業員の待遇を改善したい。仕入れ、経費、金利が膨らむ。売価(運賃)を上げたいが、思う様にはいかない。
【調達物流、工場間輸送、等】
- ・消費者の購買意欲が納税・社会保障納付で可処分所得減少が顕著に表れ高額商品購入意欲が減退している。現在の税体系では負担が大きすぎて生活維持も困難になる予想です。
【不動産買取再販・仲介・管理】
- ・障害者の法定雇用率が今後も上昇するので、障害者を特例子会社等へ取られる懸念がある。2027年厚労省の障害者施設への報酬が時間単位に変更の可能性があり対策が必要。
【厚労省:障害福祉サービス 障害者就労継続支援B型】

売上DI(前年同期比)の推移

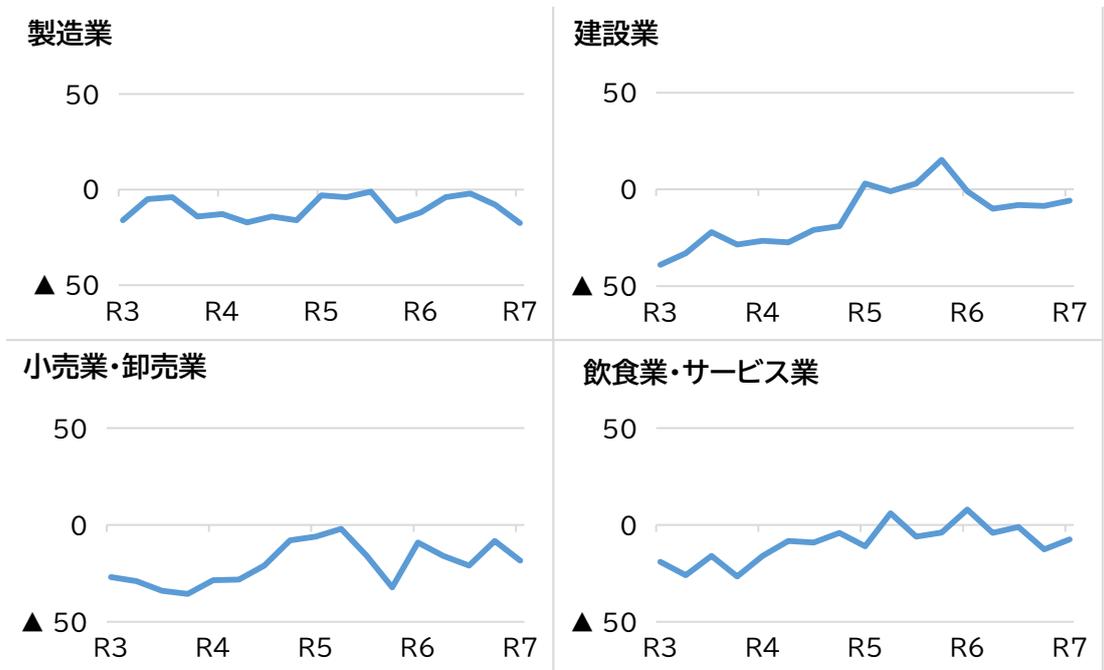
全産業の売上DIは、▲11(前期差1ポイント減)と、前期とほぼ変わらなかった。
 産業別にみると、建設業が▲6、飲食業・サービス業が▲7で、それぞれ前期から改善した。
 製造業が▲17、小売業・卸売業が▲18でそれぞれ前期から大きく悪化した。
 全国と比較すると、建設業は好調となっている。製造業、飲食業・サービス業は全国よりやや低い。

(令和4年4-6月期～令和7年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DI(前年同期比)の推移

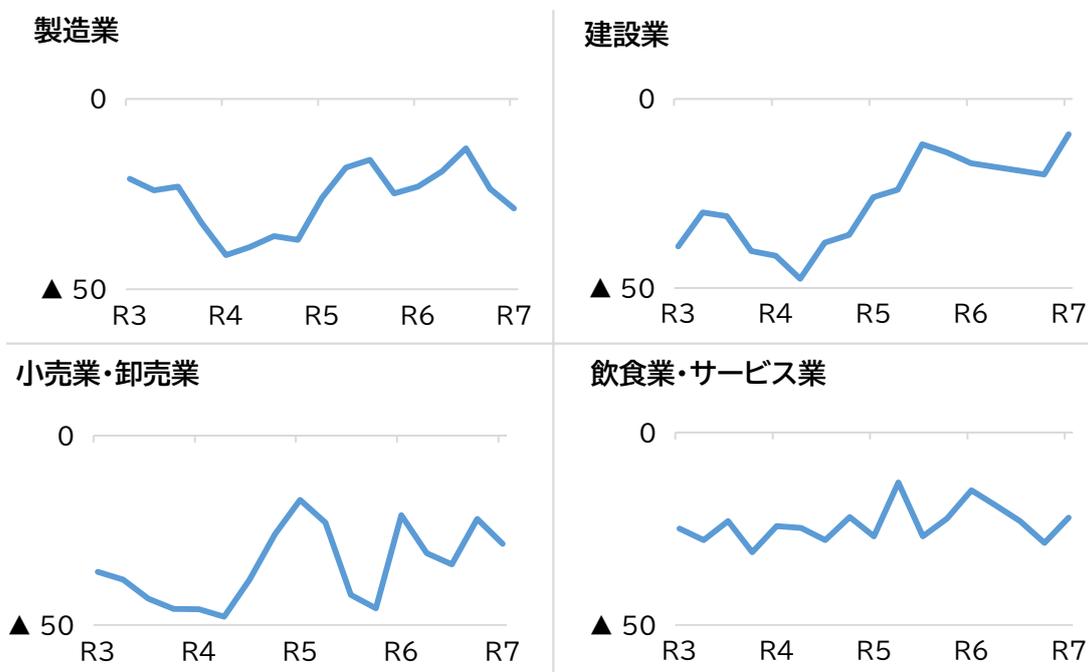
全産業の採算DIは、▲22(前期差3ポイント増)で、やや改善した。
 産業別にみると、建設業は▲9で大幅に改善した。飲食業・サービス業は▲22で改善した。
 製造業が▲29、小売業・卸売業は▲29と前期より悪化した。
 全国と比較すると、建設業が高い一方、製造業が低くなっている。

(令和4年4-6月期～令和7年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

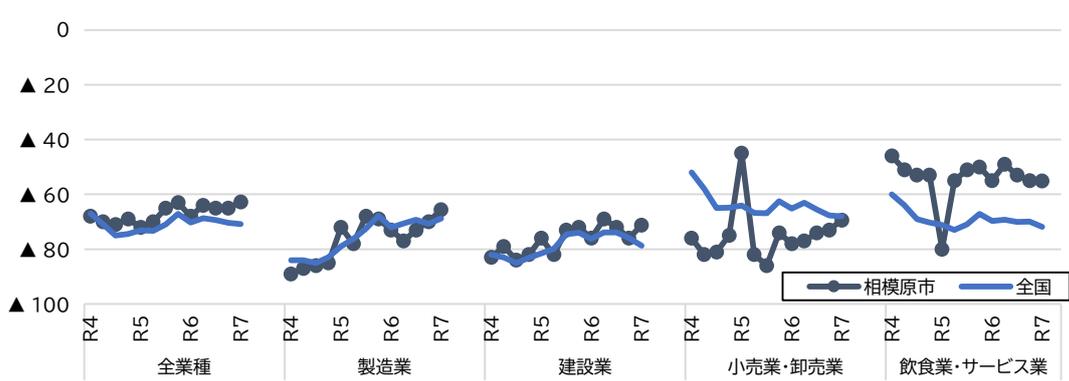
参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



仕入単価DI(前年同期比)の推移

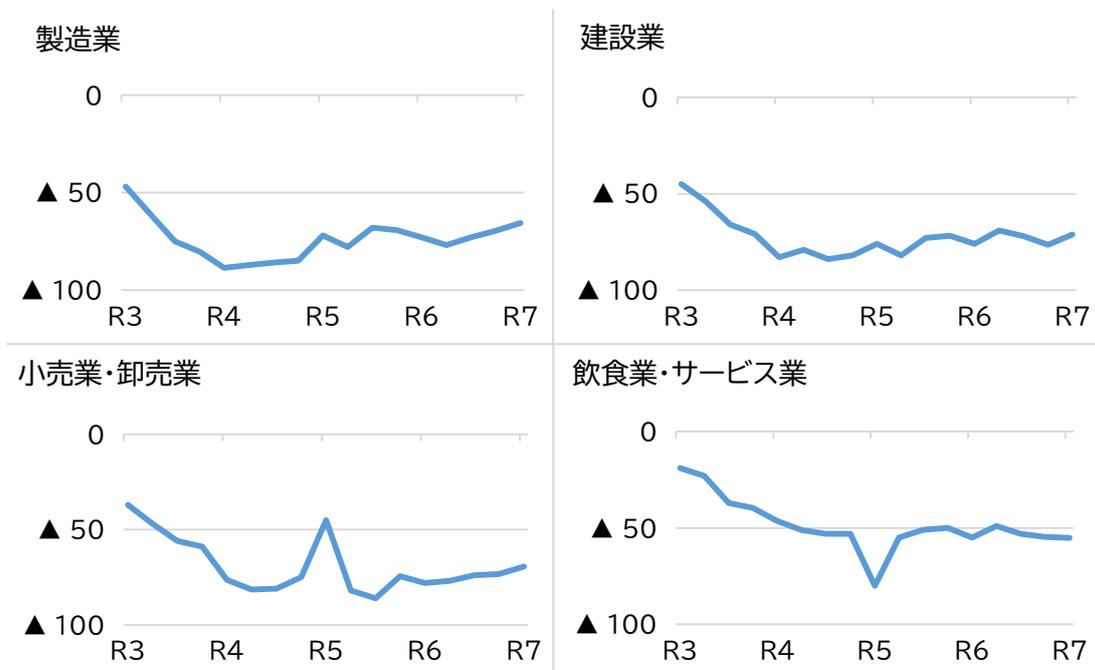
全産業の仕入単価DIは▲63(前期差2ポイント増)で、やや改善した。
 産業別にみると、建設業が▲71、製造業が▲66、小売業・卸売業は▲69と小幅に改善した。飲食業・サービス業が▲55と横ばいであった。
 全国と比較すると、建設業、飲食業・サービス業は状況が良い。

(令和4年4-6月期～令和7年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落一上昇、中小企業庁は「上昇一低下」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

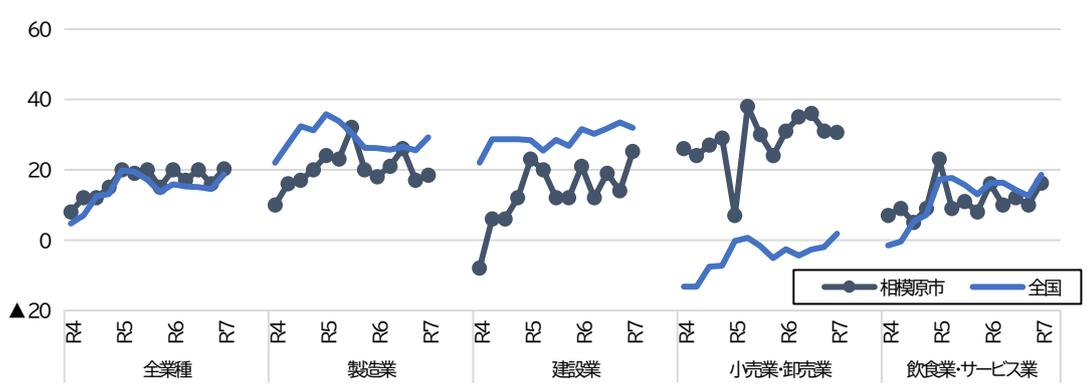


販売単価DIの推移

販売単価DI(前年同期比)の推移

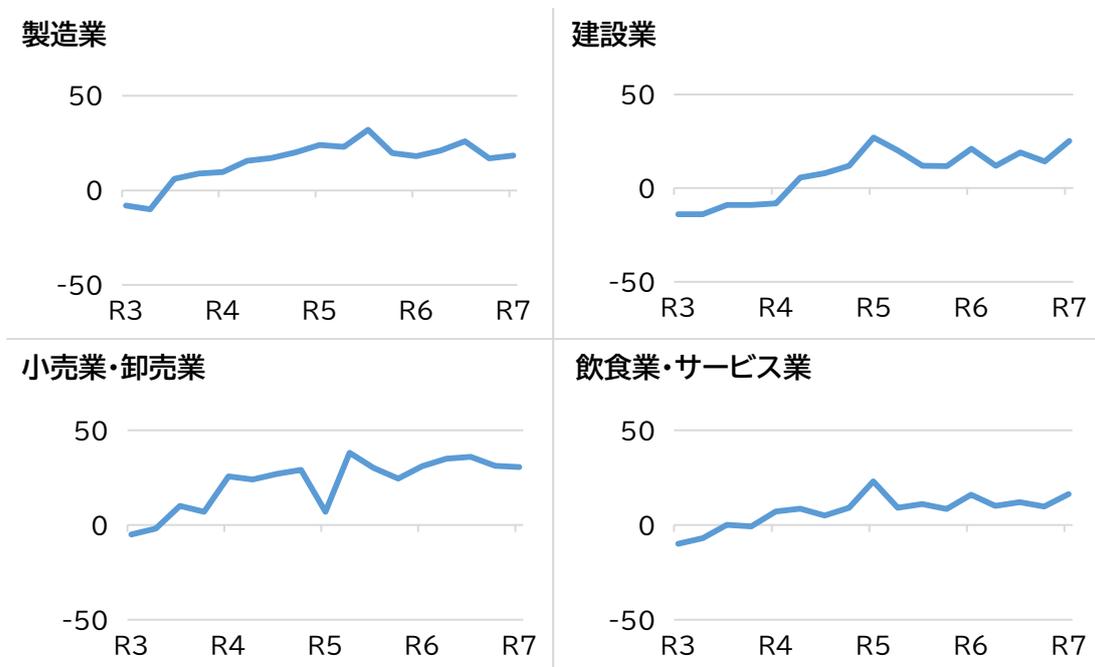
全産業の販売単価DIは、20(前期差4ポイント増)と、若干の改善であった。
 産業別にみると、建設業が25、飲食業・サービス業は16でそれぞれ改善している。製造業は18、小売業・卸売業が31でほぼ横ばいであった。
 全国と比較すると、製造業と建設業は全国よりも低い水準が続いている。小売業・卸売業は、全国よりもかなり高い状態が続く。

(令和4年4-6月期～令和7年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所LOBO/建設業令和7年6月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

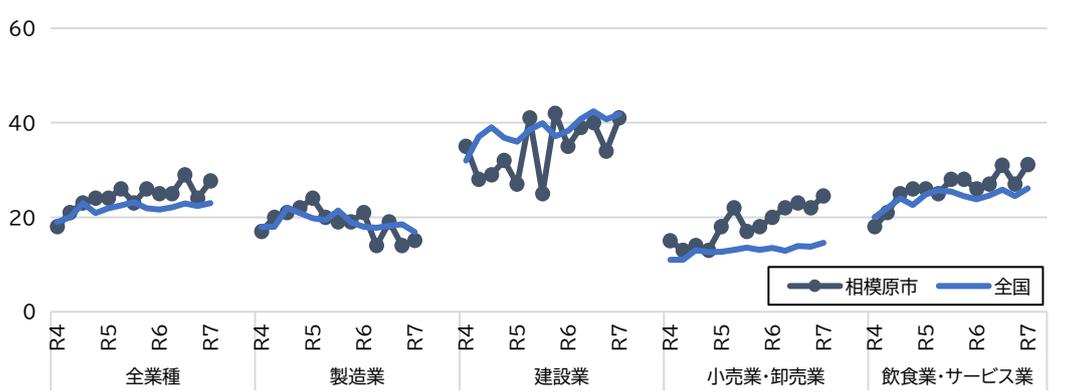


従業員DIの推移

従業員DI(前年同期比)の推移

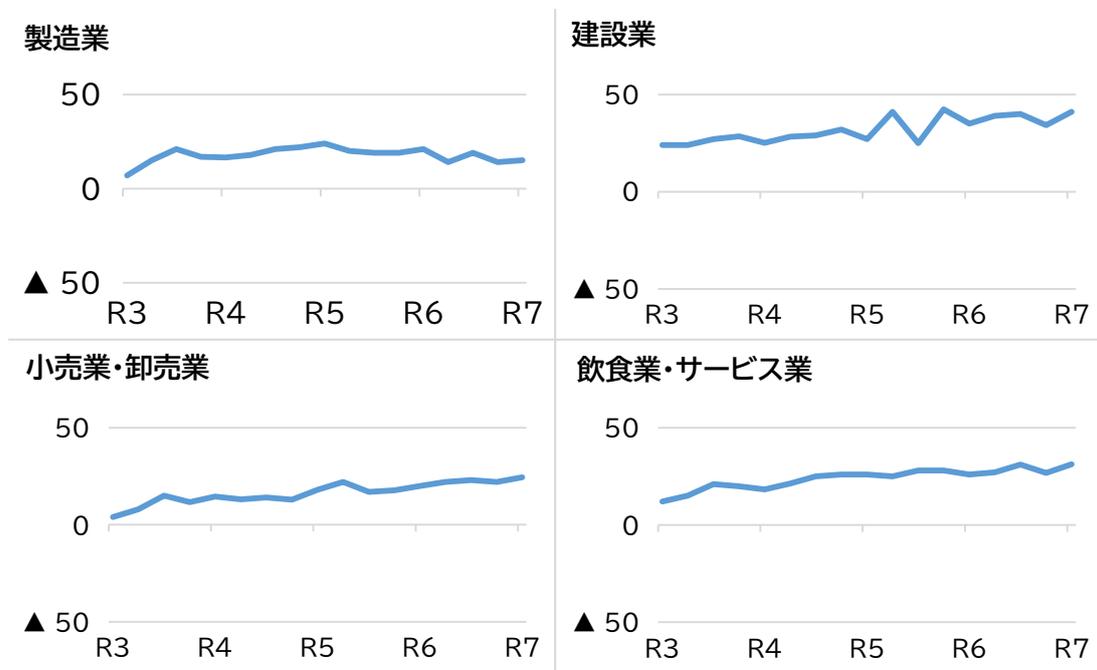
全産業の従業員DIは、28(前期差4ポイント増)で、前期からやや改善した。
 産業別では、建設業は41、飲食業・サービス業は31と改善した。小売業・卸売業が24、製造業は15でいずれも前期から小幅の改善となった。
 全国と比較すると、特に小売業・卸売業で当市の方が、人手不足感が高い。

(令和4年4-6月期～令和7年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査
 ※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



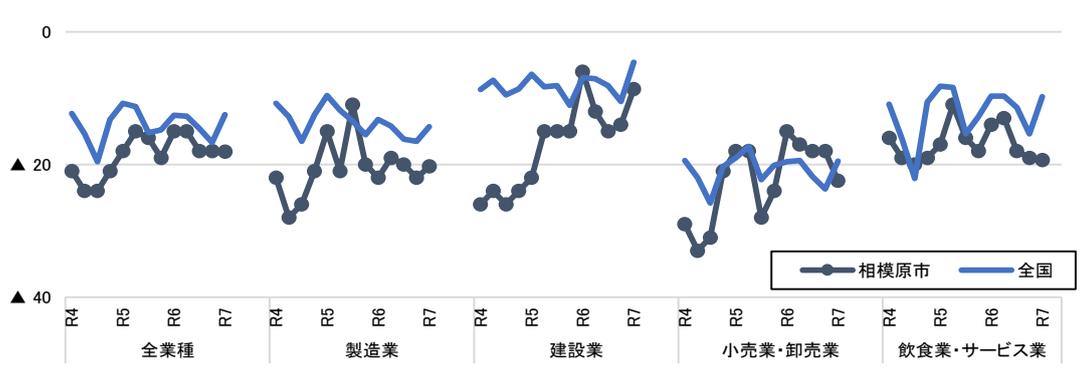
資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、▲18(前期差±0ポイント)で、横ばいだった。

産業別にみると、建設業は▲9、製造業は▲20で改善した。飲食業・サービス業は▲19で前期並み。小売業・卸売業は▲22で小幅の悪化だった。

全国と比較すると、すべての業種において、当市のほうが全国よりやや悪い状況となっている。

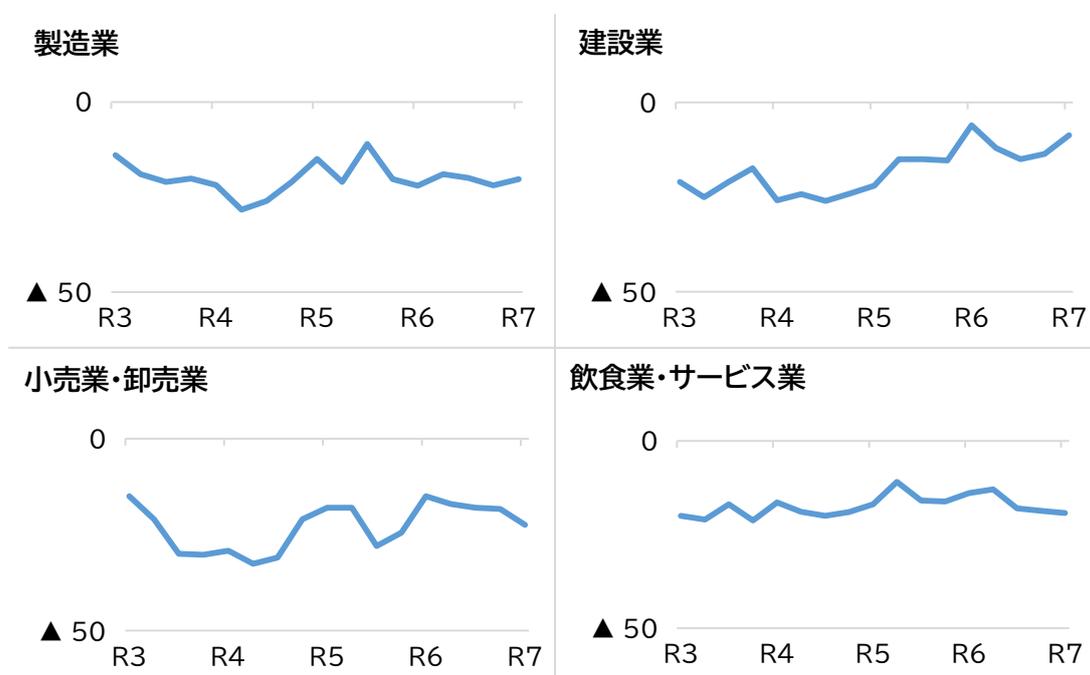
(令和4年4-6月期～令和7年4-6月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

			今期(R7.4~R7.6)				次期見通し(R7.7~R7.9)			
			売上:増加 採算:資金、総 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	46	83	83	212	39	103	70	212
		構成比	22	39	39	▲17	18	49	33	▲15
	採算	サンプル数	26	99	87	212	29	100	83	212
		構成比	12	47	41	▲29	14	47	39	▲25
	仕入単価	サンプル数	6	61	145	212	2	98	112	212
		構成比	3	29	68	▲66	1	46	53	▲52
	販売単価	サンプル数	50	151	11	212	37	161	14	212
		構成比	24	71	5	18	17	76	7	11
	従業員	サンプル数	39	166	7	212	34	171	7	212
		構成比	18	78	3	15	16	81	3	13
	資金繰り	サンプル数	13	143	56	212	17	133	62	212
		構成比	6	67	26	▲20	8	63	29	▲21
	業況	サンプル数	18	110	84	212	27	110	75	212
		構成比	8	52	40	▲31	13	52	35	▲23
建設業	売上	サンプル数	34	63	42	139	26	79	34	139
		構成比	24	45	30	▲6	19	57	24	▲6
	採算	サンプル数	22	82	35	139	17	91	31	139
		構成比	16	59	25	▲9	12	65	22	▲10
	仕入単価	サンプル数	2	36	101	139	3	52	84	139
		構成比	1	26	73	▲71	2	37	60	▲58
	販売単価	サンプル数	47	80	12	139	38	87	14	139
		構成比	34	58	9	25	27	63	10	17
	従業員	サンプル数	59	78	2	139	56	81	2	139
		構成比	42	56	1	41	40	58	1	39
	資金繰り	サンプル数	12	103	24	139	10	104	25	139
		構成比	9	74	17	▲9	7	75	18	▲11
	業況	サンプル数	20	82	37	139	15	89	35	139
		構成比	14	59	27	▲12	11	64	25	▲14
小売業・卸売業	売上	サンプル数	21	38	39	98	17	44	37	98
		構成比	21	39	40	▲18	17	45	38	▲20
	採算	サンプル数	13	44	41	98	6	56	36	98
		構成比	13	45	42	▲29	6	57	37	▲31
	仕入単価	サンプル数	3	24	71	98	3	42	53	98
		構成比	3	24	72	▲69	3	43	54	▲51
	販売単価	サンプル数	39	50	9	98	27	58	13	98
		構成比	40	51	9	31	28	59	13	14
	従業員	サンプル数	26	70	2	98	21	75	2	98
		構成比	27	71	2	24	21	77	2	19
	資金繰り	サンプル数	3	70	25	98	2	70	26	98
		構成比	3	71	26	▲22	2	71	27	▲24
	業況	サンプル数	9	58	31	98	6	57	35	98
		構成比	9	59	32	▲22	6	58	36	▲30
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	77	143	101	321	75	175	71	321
		構成比	24	45	31	▲7	23	55	22	1
	採算	サンプル数	34	182	105	321	40	200	81	321
		構成比	11	57	33	▲22	12	62	25	▲13
	仕入単価	サンプル数	2	140	179	321	4	181	136	321
		構成比	1	44	56	▲55	1	56	42	▲41
	販売単価	サンプル数	82	209	30	321	59	243	19	321
		構成比	26	65	9	16	18	76	6	12
	従業員	サンプル数	103	215	3	321	87	228	6	321
		構成比	32	67	1	31	27	71	2	25
	資金繰り	サンプル数	15	229	77	321	16	242	63	321
		構成比	5	71	24	▲19	5	75	20	▲15
	業況	サンプル数	31	187	103	321	32	210	79	321
		構成比	10	58	32	▲22	10	65	25	▲15
全業種総合	売上	サンプル数	178	327	265	770	157	401	212	770
		構成比	23	42	34	▲11	20	52	28	▲7
	採算	サンプル数	95	407	268	770	92	447	231	770
		構成比	12	53	35	▲22	12	58	30	▲18
	仕入単価	サンプル数	13	261	496	770	12	373	385	770
		構成比	2	34	64	▲63	2	48	50	▲48
	販売単価	サンプル数	218	490	62	770	161	549	60	770
		構成比	28	64	8	20	21	71	8	13
	従業員	サンプル数	227	529	14	770	198	555	17	770
		構成比	29	69	2	28	26	72	2	24
	資金繰り	サンプル数	43	545	182	770	45	549	176	770
		構成比	6	71	24	▲18	6	71	23	▲17
	業況	サンプル数	78	437	255	770	80	466	224	770
		構成比	10	57	33	▲23	10	61	29	▲19

集計表(トピックス)

製造業
仕入価格の上昇。【印刷業】
自動車産業低迷の影響。【自動化、省人化設備の制御盤設計製作】
受注の減少。【精密板金加工】
部材の仕入納期長期化、加工費等の高騰。【工業用自動機の開発製造販売】
物価高、税金の高さで畳まで消費が回って来ない。必要な出来事や還元補助事業などがない限り、畳替え、リフォームまで進みづらい。ガソリン価格の上昇で交通費がバカにならない。トリガーを外すべき。物価高で消費するチカラが削がれてしまう。【畳製作施工】
食材の値上り、米、のり、油他(異常といえるほど)。【弁当、総菜】
注文が少ない。【鉄製造】
景気観、好不況感の感触が悪く不安。【電子回路基板設計・製作】
昨年少し改善した受注状況が再び悪化の兆しを見せている。【産業用モータ制御装置の製造販売】
黒字の見通しだが一時的なもののため、不安定。【電気機械器具製造ワイヤーハーネス製造】
状況は前年と変わらないが、仕入コスト増加や経費増加等収益への影響が大きくなっており、業績悪化の不安がつる。【電子回路設計／製造／販売】
物価高。【建築鉄骨】
投資計画が延期ではなく凍結されている。【省力化機器の設計製造】
トランプ関税・中国のレアアース輸出規制がどの程度の影響を及ぼすか心配。【電池部品】
米の関税政策により企業は政治的に方針が決まるのを待っている感じがします。弊社も3月期まで順調でしたが4月、5月から売上が半分くらいになる見通しです。【制御盤(設計、製作)機械付常配線工事一般電気工事】
米国の関税。自動車業界の低迷。【切削工具製造及び再研磨】
受注が激減。【不織布製品の企画、製造販売】
海外発注品のあるため、円安の影響を直接受けています。【ヨットのマスト設計・製造他】
仕入も値上り、仕事も少なく(仕事の値下げ)経営が大変です。【金属加工】
アメリカの税による不況。【製造業】
外注費の高騰。【特殊高圧ガス配管設備の製造】
借入金返済、税金支払い、特に税金消費税等にまわらない。【製造業】
あまり良くない。【木製キャビネット】
様々な影響で先が見えない。【トラック、建機の足回り部品の加工をメインに様々な金属加工を行っています】
ここ数月受注が減少している。材料費も高くなっている。【金属部品加工、プレス修理工】
米国の動向(トランプ関税など)。【輸送機器のネジの製造販売】
受注単価の低下の影響で、仕入上昇分がカバーできないため、売上が減少している。【軟質ウレタンフォーム加工及びウレタンチップフォーム製造加工】
日産のせいで大迷惑。うちは取引がほぼ無いが影響が来る。【自動車部品用検査治具工業用試作モデル】
若手の製造業離れ。【電気図面及びPLCソフト設計、制御盤設計、製作】
受注、発注以前に、引き合いの数が少ない。案件の減少。【金属加工】
受注量の低下。【金属熱処理】
大手企業との直取引ではあるが顧客事業の一部で発注減少の傾向にあり、その影響が出てきている。今後さらに悪化の懸念あり。【製缶・板金工事】
景気悪化、受注減少、仕入れ額増加、資金繰り難。【紫外線平行光照射装置(精密フォトリソ用)の開発、設計、製造 各種紫外線照射装置の開発、設計、製造】
現状よりトランプ関税の影響が大きくなると厳しそう。【自動車部品加工 精密板金加工】
弊社の業界全体の景気は、良くないが弊社はその中でも景気が良い米国企業1社と日本企業1社からの注文が増加し、好景気です。ただ、特殊な例と思っています。【電子部品(水晶デバイス、キャパ、インダクター、センサー等)を検査するソケットを製造・販売しています。】
受注が減少している。【合成樹脂加工業】
人員不足、受注量低下傾向。【電力機器、配電機器、免震・制振・制音デバイス、精密デバイス】
開発案件が減少方向。【電子機器の受託開発設計及び少数生産】
トランプの関税。【ダイカスト製品の良品化支援装置 ランナー加圧装置】

販売不振。【金属加工業】
部品材料の価格高騰が頻繁におこっている。【各種自動制御装置の設計、製作、据付配線工事】
材料の値上げが止まらない。【生コンクリート製造・販売】
トランプ関税などに代表される米国経済政策の不透明感・不安定感や中国の景気後退など海外のリセッション懸念、また国内では賃金上昇による生産コストの上昇など、景気の下振れ懸念が、今後(中期的な)の売上高や仕入れコストにどう影響していくのか心配。【空圧制御バルブおよび関連商品の製造販売】
アメリカのトランプ関税の影響による注文減少。光熱費、燃料費の高騰、材料費の値上げによる利益減少。【工業塗装】
アメリカの関税の問題。【製造業】
エンジニア人材の不足。【産業機器】
製造業の全体の受注量が減少の為売上が不振。【真空装置の部分品加工】
採算悪化傾向にあり思い切った設備投資ができない。老朽化した設備を修理しながら使用しており、効率化の改善も難しい状況。【建設機械製品(シールド機、セグメント他)】
アメリカの関税問題。【シャフト・ベアリングケース・ブラケット等】
景気が悪い中で、持続的値上げなど非現実的です。【段ボール箱製造業】
関税の余波。【制御盤の政策、ケーブル加工】
せっかく設備投資として設備を一新しても、若い次世代の入社がないです。現状のままでは、10年先が心配になります。魅力的な会社になる為に諸々手はつくしているのですが。【鉄鋼業、建設機械、産業生産設備の金属部品加工、製缶】
受注が少し、2ヶ月など遅れている。【発泡強化プラスチック製造業】
景気の不透明感による買い控えが多い。【食品加工機械製造販売】
発明大賞受賞による期待。【ダイカスト製品の良品支援装置及びコンサル】
なかなか売上が好転しない。長い間の景気悪化が続いている。【工場総合設備、コンベアー設計製作】
コロナ以降、ライバル出現で単価の下落で採算悪化。円安で仕入単価も上がり、社員の給与を上げるどころではない。【ヘアゴム】
仕入れ品の値上がりや出張などの交通費及び宿泊費などの高騰による経費の増加。【主に食品工場様向け自動化装置(FA機器)、ライン搬送設備等の製造、販売】
様々な製造原価高騰による業績の確保について先行きが不透明。【精密板金加工】
化粧品業界が不振だと聞いているが、春以降は、受注は戻ってきている。その他の分野では取引先の内製化や海外への移管でなくなる仕事がある。収益性悪化の主要原因は売上不振によるものだが、今後のリスクヘッジも考えて販路を開拓したい。受注単価も10%アップを目標に交渉予定。【各種製品の加工、検査及び包装】
技術者不足。【各種計測器・検査機・梱包業】
受注先からの年間計画が出ているが、前半期は低調、後半期にずれ込んでいるが、様子見の状況が読み取れるので、先が読めない。トランプ関税がどのように展開されるか予想がつかないためだと思われる。【自動車部品製造業】
不景気。【キャンピングカー製造販売】
アメリカ関税で景気悪化。【インサーキットテスト、インサーキットテストフィクスチャ、ファンクションテストの販売】
仕入価格を販売価格に転嫁できない。価格の見直しを御願いとすると転注される。【段ボール製函紙器一式・包装資材製造販売 段ボール家具製造販売】
エネルギーコスト増大、受注量の減少(トランプ関税による)。【治具の設計製作 部品加工】
利益率が悪い、製造現場が悪い。【段ボール製品の製造販売、包装資材一式販売】
資材価格高騰、販売価格への転嫁が今後の課題。【産業用途向け通信機器の開発・設計・製造、販売及び、防災機器の製造】
トランプ関税に起因するこの先の経済成長鈍化が懸念。【1)電子応用装置設計・製造2)防犯機器の販売】
売上減の影響。【金属製品塗装めっき】
仕入単価の上昇が続いている。【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】
材料費、燃料費など好転の見込みなく採算面の徐々に影響が広がっている。【精密板金製品】
関税の影響。【プラスチック加工】
物価高、人件費高騰による資金不足。【段ボール製造、販売】
賃金UPの実施への不安。【製造業】

新規案件が入り始めているのでいい傾向だが、引き続き購入品の値上げ依頼と円安は厳しい状況。【トラック、バス、建機用部品の製造及びアフターマーケット用部品、OEM品はマグネチックバルブ、アフター品はグロープラグと燃料用ポンプ】
輸出関連が低調。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事】
トランプ関税の影響による経済動向。【産業用機械部品製造、組立・自動車部品製造】
雇用募集をしても、なかなか採用に至らない。高齢化。【基板検査機、検査治具、計測器類】
人件費高騰、仕入れ高騰。【ストレージ製品の開発、製造】
採用に今まで以上に苦戦。【金属製品製造】
昨年は円安による貿易輸出の影響で、弊社製品の取り扱い量が増えたこと。値上げによる売り上げ増加が得られているが、トランプ政権による貿易摩擦による影響がどこまで影響するかが不透明である。【紙製品化成品 製造販売】
年々、採用が難しくなっているのを感じています。【食品、食品添加物の製造、販売】
人材不足であり、仕事量はあっても対応できない。【大型制御装置組立、検査】
景気の長期低迷。【半導体製造装置部品】
受注低迷の継続。【プリント配線板製造】
仕入価格の上昇トレンドが変わらず強く販売価格への転嫁が追い付かない、加えて自社人件費の上昇がさらに採算性を悪化させている。【事務機、新聞店向け機器、印刷後加工機の開発製造】
引き続き円安の影響が感じるところ。【マグネチックバルブ、グロープラグ、フューエルポンプ】
仕入単価・諸経費増加に対する販売価格への転嫁。【自動包装機械・省力機械及び包装プラント、システムの設計・開発・製造・販売】
従業員不足。【製造業】
受注が低迷している(米国関税引き上げによる影響)。【プレス機械の製造・販売・修理】
仕入コスト上昇や賃上げによる人件費の上昇が経営状況の悪化に直結している。【一般家庭向け厨房用電気製品(レンジフード)の製造、販売、アフターサービス 業務用厨房換気設備の設計、製造、販売】
営業部門の新卒採用が困難である。【臨床検査薬の開発、製造、販売】

建設業
個人消費が落ち込んでいるのが大きい。生活必需品以外の消費にお金回っていない状況に思えます。建築内装関係も壊れたとかでないで後回しになっている感じです。【建具工事、造作家具工事、建具金物・ガラス交換、建具修理調整、障子・襖・網戸張替え等】
月ごとの波が激しい。【クロス工事】
人手不足。【建設業】
受注減、従業員不足。【移動体基地局工事、EV充電器設置工事、照明機器取付・交換工事】
物価高騰、人件費高騰しているのに販売価格を上げることが出来ず売上も微減している。【内装リフォーム】
政府の働き方改革の悪影響が色濃く出ていて自由な会社運営が実現できるように願います。【電気工事】
人手不足。【通信機器販売・設置・保守】
従業員の不足。【管工事・電気工事】
材料費の断続的な高騰。【住宅基礎工事】
業界の人材不足。【大工工事業】
燃料費の高騰、人材確保が困難、増税など明るい材料が見つからない。【道路工事】
低単価で請け負う業者が蔓延していて、業界の客単価を下げている。【リフォーム】
時間差を置いて出るであろう円高、関税の影響。【リフォーム】
雇用不足。【測量・墨出】
慢性的に人手不足、受注状況は好調。【建築設備工事】
月によって売り上げが上下し待ちの状況を今後は、好転させていけるような仕組みを考えなければ後々、事業を閉めなければならなくなりそうです。技術や納期短縮は従来とおりにできているので宣伝力もあげていけるようになりたい。【木製建具・造作家具】
ロシア、ウクライナの戦争、アメリカ大統領(トランプ)自民党(JA)→世の中、暗いと消費を考える。【リフォーム】

社会保険料が高すぎて経営を圧迫しています。人を雇用することが厳しくなります。【造園業】
金額が大きい工事が少ない。【外構、土木工事】
隣の町田市の公共工事が増加しつつあり、先行不明。【鉄骨建築加工業】
繁忙期と閑散期のむら。【リフォーム】
材料の高止まりとアメリカの動向に様子見の発注。【看板製作・電気工事】
国の窓補助金が終了することへの不安。【アルミサッシの組み立て、配送】
現場管理者の不足。見積・契約等が電子に移行している為、年輩の社員は操作に馴染めない。提出書類についても同様で、操作が出来る者に集中してしまう傾向がある。【電気設備工事】
変わらず人材＝労働力が不足している。【ポンプ、送風機のメンテナンス】
協力会社を増やしていかないと売上の増加には繋がっていかない。【電気工事業】
労務費の価格転嫁が難しい。工事資材が海外からの輸入が多いので円安、アメリカ関税への不安。【冷凍冷蔵設備工事施工及び管理機器販売、メンテナンス】
収益率の低下と人手不足。【土木建設業】
下請、材料仕入含め諸経費が上がっている。【クリーンルーム居宅介護】
案件の引合いは多いが、工事管理者に限りがあり、受注できない状況が続いている。即戦力の人材募集もしているが、厳しい状況。事業を継続していくためにも、他県の就職希望の高校生等の募集も7月以降にする予定だが、借り上げ住宅制度等の経費は増加すると考える。【電気工事業】
原価の高騰、発注減少。【防水工事業】
物価高騰、人材採用の難しさ。【造園・土木工事】
欲しい人材を採用できない。【機会器具設置工事業】
公共工事単価の見直し。【建設業】
収益率の低下も見られる、人材不足、休日出勤、残業が多くなってきてる。【給排水設備】
働き方改革、人手不足で、元請けゼネコンが受注をしびり、見積もってもなかなか受注につながらない。【管工事業】
上半期の工事受注量が業界的に少なくなっています 各現場の労務状況として人員が過剰な状況ですが、夏季は暑さもあり人員が不足する予想です 現状の人員を夏季まで確保し続けなければならないので、かなりのコストが掛かったり、仕事量を確保するのが難しいです。【鉄筋工事】
人手不足。【電気工事業】
受注状況の悪化が著しい。【電気工事業】
受注、特に公共工事が減少していると感じられる。今後も減少の見込みです。又、受注案件があっても人手不足で受けられない現状も発生している。新規雇用の求人募集もなかなか引き合いがない状況で今後の社内体制にも影響が生じる見込み。【土木建築の施工】
あまりにも政治が不安定すぎる。【工場、住宅、アパート、リフォーム】
市の公共事業の減少、国家事業していない。【建設業】
工事の引き合いは増加傾向にあるが、人員不足により対応しきれない。機会損失が増えそう。【防水工事業、ガラス工事業】
職人の高齢。【マンションの造作工事(大工)】
高齢化に伴う人材不足。【建設業】
雇用、所得環境の改善により、緩やかな景気回復の継続が期待されるが、物価上昇の継続や諸外国の政策動向による影響などが、国内景気を下押しするリスクとなっており、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。今後の国内建設市場については、建設投資は引き続き堅調に推移することが見込まれるが、技能労働者の減少、時間外労働に関する上限規制の適用による影響や原材料価格の高止まり等が懸念されるとともに、新設等を主体とした「フロー」型から維持・修繕等の「ストック」型への需要の質的変化やデジタルによる技術革新など構造変革が迫られている。【土木、建築工事請負業・不動産事業】

小売業・卸売業
消費者の節約志向。【衣類、化粧品、健康食品】
顧客の人件費削減等により販売にも制限がかかっているようで、なかなか売上がのびない。【射出成形機及び周辺機器等の卸売り販売、金型自動機の製造販売】
中国の状況も日々変化している為、今後も注目しながら利益を狙っていきたい。【中国輸出、中国輸入、OEM】

全般的な消費の低迷の他、取引先の人員不足等に帰する工事販売件数の伸び悩みにより売上が頭打ちになっている。【薪ストーブ及び薪ストーブ用煙突部材の卸販売】
2月までの売上は平年並みに推移していたが、3月以降低調である。理化学機器は大学などの予算で左右され、例年3月は売上が好調であったが、今年は低調であった。【エアコンプレッサー及びその周辺機器の卸売(一部自社で製造)】
来期の世界情勢が不安だが、今期は特になし。【中古建設機械販売】
コロナ期間時の客先過剰受注が思っていた以上に消化されてなく定期購入部品の受注減が甚だしい。またトランプ政権の関税が今後どう影響していくか不安である。【電子部品全般の仕入れ・販売】
価格の値上りの頻度が激しく売値が追いつかない。【建築土木資材販売業】
お米を含む各食品等の値上げで消費者の消費意欲が無くなってきていると感じている。【食肉関係】
インバウンドをターゲットにしている飲食店の好調ぶりが目立つ。【青果物卸売、学校給食、病院食、飲食店など】
物価高騰から個人消費の回復が遅れ厳しい状況が続く。【地方卸売市場(青果)の運営】
顧客先の好不況感。【工業用螺子類販売総合商社】
先行不透明感が増加。【工業・産業用部品卸】
一昨年来の原料の仕入れ価格上昇。【介護用食品の開発、販売】
諸物価値上がりの影響で、生活費、食事代、旅行や趣味に使う遊興費(ストレス発散)優先で、耐久消費財は買わない、とことん必要なひとしか買い物に来ない。生活保護受給者は三食を二食に減らしている人もいる。年寄りには施設に入ったり病院通いに明け暮れたり、デイサービス通う、寝たきりで買い物も出来ないのので来客数減少、零細小商い業者は持続可能かどうかの消耗戦の日々を送っています。中小企業も人件費・仕入価格等の上昇で持続が危がまれている。【メガネ、コンタクトレンズ、補聴器】
売上は確保出来ているが、仕入、加工単価の上昇につき収益率が大幅に低下している。【健康食品の小売、卸売(玉葱皮茶など)】
供給が安定しない医薬品が新規店舗にまわってこないため、処方箋を応需できないことで顧客を獲得できず逃してしまう。【保険調剤、医薬品販売】
例年よりも早く暑くなりそうのため、ガスの使用減が見込まれる。【プロパンガス販売】
この数年(コロナ騒動後)大幅な受注額減少。今年も後遺症の継続。【各種光学レンズ輸出】
買い控えの方が多い。【オーダーカーテン、絨毯、インテリア小物販売】
インフレに伴う個人消費額の下落基調。【物産品販売】
受注の減少が感じられる。【文具・事務用品】
物流のコストの値上り、単価の値上げ。【事務用品一般】
売上高は上がっているが、利益率が下がっている。【自動車買取販売】
税金高すぎ。【家電小売】
食料品の価格高騰により、食品以外の業種の売上低迷が顕著になってきている。【衣料品・食品・暮らしと住まいの品・化粧品・日用雑貨品・薬など総合小売業】
値上りが止まらない。【靴】
オール電化、都市ガスが増え顧客減少、あと一番は老人世帯が多くなり子供が家を継がないことで空き家が増える一方。【LPガス、灯油、住宅リフォーム】
新年度の動きが悪い、企業の活性化がない。個人の財布がさみしい等感じます。【はんこ、印刷】
繁忙期が終わったが昨年比売上横ばい。昨年は猛暑により来客数の大幅な減少が見られたので今年も先行き不安。すでに店舗は赤字なのでこれ以上来客数は落とせない。在庫整理や商品の見直しを進める。【IT機器、オフィス用品】
個人消費の大幅低下。【釣具販売】
個人消費の低迷。【コンビニエンスストア】
物価高に伴い買上げ点数の減少。【木材、工具、園芸、家電、日用品、ペット、食品】
人手不足。【化粧品小売】
単価の2極化。【ビジネス服】
経費における、人件費の割合が増加傾向にある事。【自動車販売業】
仕入単価の上昇を原因とする販売単価の上昇が、顧客に認知されにくい。【量販店における花木の委託販売】
新卒社員の売り手市場で、十分な新規人財を確保できるか。【中古品】

飲食業・サービス業
物価高騰による原価率の上がり、スタッフ不足の求人広告費。【寿司屋】
客足は伸びている。客単価も悪くない。仕入単価、諸経費の増加が影響して、業績が好調とは言い難い。【居酒屋】
食材価格の上昇、特に米の価格が本当に¥2,000代/5kgとなるのか？実現すれば、収支は好転する。【居酒屋営業】
全て値上げ。どんどん上がる急な物価上昇、消費低迷による来店減少が続いています。お米が去年の価格の2倍に。【海鮮居酒屋】
米の値上がりが止まらない。物は出てきたが高止まり。【酒、刺身、煮物、揚げ物、他ごはん】
米の高値。【ランチの提供】
仕入れ価格の上昇。【生ジュース調理販売】
仕入原価の上昇と人件費の上昇が収益を圧迫している。販売単価を上げたいが顧客離れを考えると値上げに踏み切れることも現状は厳しい状況。【自家製餃子の製造及び販売】
光熱費上昇。【居酒屋】
政策の愚策。【居酒屋】
車や発電機を使用するため、いつまでもガソリンが高いまだと、売上があがっても販売するものの値上げをしなければ利益がうすくなってしまふ。【コーヒーの移動販売】
アルコールを飲むお客様が減少。【ビストロ、ワイン】
米高。【定食屋】
材料値上りに伴う販売価額は度々出来兼ねるのが目下の悩みです。従って自ら収益率は下がり諸経費負担にも係って来ることがある。【中華料理】
売上の増加の伸び悩み。仕入上昇。【ラーメン店】
売価をあげてもそれを超える度重なる原材料費高騰が止まらずバランスがとりにくい。【うどん】
仕入れ品の価格の上昇、売価に転嫁できない。【飲食業・宿泊業】
従業員不足(特にアルバイト)が顕著。来客数の減少、個人消費低迷(特に平日)。【和食ファミリーレストランのチェーン運営】
景気悪い。【輸出梱包】
一昔前と比べ、競合他社が多くなり、求職者も働き口を迷ってしまう。差別化を図るのが難しい。【小包みの配送】
雇用が難しい。【自動車運送取扱事業】
受注も減少、仕入単価が上がり、人件費の高騰、全てが悪い。【梱包業、輸出、国内、木箱、木枠、パレット作製】
1番目は、人手不足。2番目は、車両の入れ替え等の設備入れ替え。3番目は、燃料高騰の仕入れ単価の上昇。【建設資材の配送 建設現場への資材納品 ルート配送/現場配送 決まった取引先へのルート便や、建築現場に配送 特殊作業への対応 荷捌き、担ぎ降ろし、狭所対応など、】
雇用状況。【運送】
従業員の待遇を改善したい。仕入れ、経費、金利が膨らむ。売価(運賃)を上げたいが、思う様にはいかない。【調達物流、工場間輸送、等】
受注単価の値上げが難しい。【一般貨物自動車運送事業】
燃料高騰、物価高騰、運賃据え置き。【自動車部品】
当方に落ち度もあると思いますが、運輸全般で大手企業との契約が甘く損害賠償、運賃改定の交渉が大変やりにくい。大手運送会社のモラルの問題も経営結構に支障をきたす発言が多いです。下請け企業擁護の観点からもそのような機運がたかまれば2025年問題もある程度回避できると思います。【運送事業】
全てを投げ出したい！！【一般貨物】
景気の回復ドライバー不足。【一般貨物運送事業 家庭電化店舗配送 宅配便横持 自動車部品配送】
トランプ関税の影響がどうなるか分からない。【こん包業】
拘束時間の問題があるので、時間を短縮して、かつ売り上げも上げないといけない。【青果の配送】
人材難、運転手が集まらない、高齢化が進んでいる。【一般貸切旅客運送事業】
メインの荷主の状況が芳しくなくトランプショックと重なって状況が読めない。【一般貨物輸送倉庫業】
燃料の高騰にストップをかけるか消費税の引き下げをしてほしい。有給休暇の補助金。【運輸業・倉庫業・梱包業】
EC需要の増加。【貨物軽自動車運送事業取扱:EC商品、食品、書類、等】

物価高、従業員不足。【一般旅客自動車運送事業】
経費が、月が替わる毎に上昇する。【HP制作、Webシステム開発】
受注減。【ITサービス・ソフトウェア開発】
仕事がないのが非常に困ります。【校正、校閲】
内製化に伴う発注の減少。【デザイン・編集・印刷】
不透明感。【ホームページ制作(HP制作)ウェブページ制作(WEB制作)、独自CMS(コンテンツマネジメントシステム)、SEO対策、システム開発 システム構築、ウェブアプリケーション制作(WEBアプリ制作)、ネットワークカメラASPシステム開発、タイムカードASPシステム開発・レンタル、WEBページ用オリジナルCMS開発、POSレジシステム、ネットワークカメラ、ネットワークカメラ施工・運営、ネットワークカメラASPシステムレンタル、PC総合サービス、社内LAN設定構築、パソコンリモートサービス、パソコン出張サポート、法人向けPC定期メンテナンス保守、DTP(印刷物制作)DTPデザイン、各種印刷】
売上は若干の増加が見込まれるが、賃上げによる負担増が重しとなる。【ソフトウェア受託開発・SEサービス】
AI等技術革新によるビジネスモデルの転換が必要。これまで稼ぎ頭であった人材が不要になる。【受託ソフトウェア開発、技術者派遣】
社員・求人の賃上げ、物価上昇、各種サービス利用料の上昇などが、利益確保を困難にしている。【DXコンサルティング作業のみまもりサービス、省エネ関連サービス オンライン手順マニュアルシステムなど】
駅から徒歩10分以上になると空き家や在庫数が多いはずなのに、不動産価格が高すぎて、バブルの気配がする。【シェアハウス】
景気が良い会社と悪い会社の差が歴然としている。【不動産業・物品賃貸業】
工事費の上昇(いつまで続くのか)。【権利調整のコンサルタント、不動産仲介】
増収が困難な状況で、仕入れや諸経費の支払いが増加し続けるのは、非常に厳しい。【不動産賃貸管理、不動産売買、不動産仲介】
消費者の購買意欲が納税・社会保障納付で可処分所得減少が顕著に表れ高額商品購入意欲が減退している。現在の税体系では負担が大きすぎて生活維持も困難になる予想です。【不動産買取再販・仲介・管理】
経費の値上り。【不動産業・物品賃貸業】
とにかく仕入れる機材がすごく高くなっていて販売価格を思うような利益では売却できないので値下げしながら様子を見ている現状です。【不動産業・物品賃貸業】
建築確認等の時間が以前より必要となり、新築より中古販売が早くできる様になりました。【土地売買】
大手下請会社の紹介が増えてきた。採算は良くない。慎重にしている。【建物管理業】
物価高騰による、財布の紐がきつくなること。【庭木の剪定、伐採、伐根草むしり、防草シート、砂利や人工芝の施工、水回り、水漏れや水栓交換、壁紙の張替えや補修、外壁塗装、屋根の修理、雨樋、防犯対策全般、買い物代行や、引っ越し、家具の移動や、不用品処分のお手伝い、ワンちゃんの散歩や話し相手など】
来店率が下がって来ている。【理容業】
来店サイクルが長期化。【美容業】
仕入不安(供給不足)。【写真関連サービス】
材料費の値上げ分を価格に転嫁できない。【衣類のクリーニング】
人件費高騰と人手不足の矛盾。【美容室】
経費の高騰で利益が出ない。【生活関連サービス業】
来店サイクルが長い、回数が減っている。【美容業】
TELで金額等を聞いてこない事が多い。来店サイクルがのびている。化粧品類もネットで流通しているので買わなくなった人が増えている。【一般理容店】
需要はあるのに単価があがらない。【葬祭関係】
最低賃金の増加。【洋服直し】
円安による海外渡航費用の上昇。【旅行業】
物価高の影響による販売の不振。【ダスキンレンタル】
物価高の波が仕入に影響あり。【専門・技術サービス業】
AI自らが判断することを実現した特許技術を取得していますが、既存AI(判断機能が無く、事前に設定された処理や判断等を再現するAI)も判断を行っているという誤認識が広がっている現状に問題を感じています。【IT・AIコンサルティング】
売上が減少しているため、対策が必要と感じている。【経営コンサルタント】
物価は増えているのに、売価が僅か又は売価の減少圧力がある。【社会保険労務士業】

政治の混乱で国内経済活動が不安定。消費税見直しやコメ価格上昇の放置など場当たりの。将来の豊かさ構築へのリスクを取らない政策氾濫を感じる。また、別件ですが、インボイス発行の個人事業主の納税課題は消費税です。しばらくは2割特例がありますが、これを通年適用に改善していただきたいです。【技術コンサルタント、プレスの改善、トラブル 解決、プレス事業者のISO支援、製造業者SDGs支援】
景気が不況と感じる。【司法書士】
Web産業が増加傾向にあり、特に生成AIの進化と普及が激化している。このことにより、一般ユーザーが業者へ委託せずに、自己完結しようとする傾向が強まるのではないかと懸念。【企業のブランディング、ホームページ制作・改善、チラシ/はがき/名刺などの印刷物の制作】
経費増を売上単価に反映できにくい。【社会保険労務士業】
ユーザーの様子見の状態、新規投資が滞っている。【産業用排水設備の設計製作、設置、維持管理業務、各種産業設備の試作】
関税引き上げの可能性により、設備投資が下がる懸念。【自動車関連設備設計】
今後労務費を価格転嫁した受注対策が必要。【建築設計】
中小企業の設備投資(銀行の融資が減少している為)。【不動産商業登記業務、遺産承継、成年後見裁判事務、司法書士業】
いつもと同様に感じます。【輸入の際に必要な商品の許可申請代行】
諸物価の高騰。【税務関係】
電子機器メーカーの開発業務が低下している。【電子機器開発設計請負業】
今後の景気が分からず、設備投資に消極的になっている。【産業機械の設計図】
トランプ関税による自動車産業への影響。【機械設計】
ウィンドウズ10のサポート終了に伴い、11にUPデートするためにパソコンの入れ替えを行ったが、パソコンが以前導入時よりかなり高額になっている。またCADソフトなどが大きく値上げされている。【半導体製造装置設計支援】
物価上昇のため、給与、仕入先、費用、物品購入のすべてにおいて高騰していることに懸念があり、売上高上昇だけでは今後補いきれなくなる可能性がある。【建物の建築設計・工事監理・調査等】
受発注状況。【運輸業に付帯する製造業(主に、検査・梱包)】
元々浮き沈みがある仕事なので4月～6月は減少傾向7月～9月は増加になります。以前からこの浮き沈みは何とか均衡にならないかと策を検討しています。【厨房機器入替え・メンテナンス等】
工賃単価が低い。税金が高い。種類が多い。【自動車車検板金塗装】
雇用に関して、条件の良い会社が注目される中家族経営の小さな会社では福利厚生や設備不足により魅力的ではない状況で雇用が難しい。【コンプレッサーの修理等】
仕入れ単価の上昇。【カーコーティング、カーフィルム、板金塗装、車検】
仕入れ値やガソリンの高騰により良くなり。【自動車板金塗装・整備・販売】
全てに於いての物価上昇への懸念、トランプ関税の動向、業界全体の低迷。【墓石清掃、墓参代行、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石メンテナンス、石材特殊清掃、重要文化財【石造部】】
非鉄金属相場下落であるが、仕入単価も連動した為、利益は変わらず。従業員不足で困っている。【産業廃棄物、汚泥のリサイクル】
4月から受注数が増加しました。【電気士工作物保安業務】
従業員不足。【自動車整備】
当社においては長年使用している機械等の老朽化で新たに購入の必要性がある。人材不足はいつまでも続き同業他社等人材確保の為、募集掲載においては時給額が増加の一途を辿っている。【ビルメンテナンス業 建築物内外の日常清掃、定期清掃、特別清掃等 害虫駆除、貯水槽清掃、給排水清掃保守管理及び工事】
人材の不足、設備機器の老朽化。【高圧洗浄作業】
売上が不安定であること。【産業廃棄物処理業(焼却)産業廃棄物収集運搬業】
DXの推進、必要な人材の確保と教育。【経理・人事のシェアサービス】
相変わらずの人手不足は変わらない。人件費・仕入・諸経費ともに増加傾向が継続。販売単価に転嫁させるタイミングを探っている。【再生資源卸売・廃棄物処理】
物価高で個人消費の低迷し廃棄物が減少している。【廃棄物収集運搬・処理】
人材の確保が大変中々求職者が集まらない。【人材紹介・人材派遣】
相模原で工場を建てたいが場所がない。【フォークリフト販売、整備、レンタル】
賃上げの厳しさ。【人材派遣業】
自動車修理工場の不足。【収集、運搬、中間処理】

外国人は集まるが日本人は集まりにくく、退職する人も多い。【自動車整備業】
製造業からの受注については、前年同時期比で横ばい～やや減少傾向です。大規模・長期案件よりも、短期・柔軟な対応を求める動きが強まっており、当社としても案件対応力や即応性の強化を迫られています。従業員からのヒアリングを通じて、生活コスト上昇への不安が高まっている様子がうかがえます。【労働者派遣事業、機械設計受託および請負業】
アメリカの経済政策による営業が懸念されます。【構内請負業・人材派遣業】
概ね取引先の業績は好調、連動して当社も好調、慢性的に人手不足 物価高対策として様々な形で還元しているため採算は悪化している。【物流システム、マテリアルハンドリングシステムなどのメンテナンス、補修工事、電気工事、調整工事、設置工事、改造工事ほかこれらに付帯する事業】
昨今、若年齢層の獲得が非常に困難、先々の社会経営に支障をきたす。【その他のサービス業】
人員不足、物価高騰による経費上昇。【廃棄物処理、建物清掃業、工業薬品販売業】
採用面で人数は確保できたが、希望の人材は難しい。【事務社業受託、紙製品製造、フラワーアレンジメント】
物価高。【鍼灸院整骨院】
物価高騰と返済が税金に反映されないので圧迫している。【鍼灸接骨院】
従業員が慢性的に不足気味である。【接骨院業務】
介護についていえば、依頼件数は依然として増加傾向にあるが、ヘルパーの不足に対するの対応が大変難しい。(応募が無いに等しい。)新しい事業として、防犯意識の高まりに対して各家庭対象に防犯設備の設置行もの導入を進めている。【訪問介護事業】
コロナ禍や戦争によって停滞した景気の回復は、依然として困難な状況にあると感じています。また、人々の生活水準の向上と消費社会のバランスが適切に保たれていないように見受けられます。【ポスティング業】
金利動向。【発電業】
原材料等の高騰化、人出不足、人件費の問題等、多方面の問題。【ディスプレイ業・展示会設営 他】
物価、給与もあがり売り上げが下がっている。【介護】
先がわからない、不安要素多い。【保険】
物価高騰。【中学受験専門店】
景気の先行が不安なためか、健康にはお金を使わない人が増えた気がする。【接骨院、鍼灸院、整体院】
競争の激化。【訪問看護】
人材採用。【インキュベーションセンターの運営】
物価上昇で今すぐどうのは無いかど何時まで続くのかを考えるとポジティブには成れない。賃上げも消極的にならざるを得なくなってきた。【障害福祉サービス】
光熱費、法定福利費が重く感じる。今の金利政策だと借入れをする思考になりにくい。【保育事業】
障害者の法定雇用率が今後も上昇するので、障害者を特例子会社等へ取られる懸念がある。2027年厚労省の障害者施設への報酬が時間単位に変更の可能性があるため対策が必要。【厚労省:障害福祉サービス 障害者就労継続支援B型 施設は、相模大野、橋本、海老名、小田原の4か所】
食品類の高騰。【保育事業】
介護を希望する人員不足、募集しても応募がなかなか難しい状況。物価高騰の所、値上げも心苦しい。【高齢者施設】
人件費の高騰。【学校経営】
業務とクライアントの特性、業務量の関係から業務環境は変化していない。【VR技術を使ったメーカーの開発の効率化(DX)推進、VRアプリ作成、コンサルティング】

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=770)

	回答割合	
売上不振	36.8%	283
受注単価・販売価格の低下	8.1%	62
収益率の低下	28.3%	218
個人消費の低迷	11.7%	90
販売先の減少	8.3%	64
大型店の進出	0.5%	4
チェーン店等との競争激化	0.0%	0
公共工事の減少	4.3%	33
民間工事の減少	4.8%	37
仕入単価の上昇	40.9%	315
円安の影響	6.6%	51
円高の影響	1.8%	14
代金回収困難	1.3%	10
諸経費の増加	27.8%	214
従業員(含、臨時)が過剰	0.9%	7
従業員(含、臨時)が不足	30.0%	231
設備不足・老朽化	13.9%	107
特になし	6.1%	47

製造業

今回調査を見ると、「収益性の低下」「従業員が不足」が増加し、「売上不振」「仕入単価の上昇」が減少した。製造業でのコスト高は依然として深刻な状況が続いている。

	R6年4~6月 n=235	R6年7~9月 n=209	R6年10~12月 n=204	R7年1~3月 n=178	今回調査 n=212
売上不振	43.4%	44.5%	46.6%	52.8%	49.5%
受注単価・販売価格の低下	9.4%	11.5%	8.3%	9.6%	9.4%
収益率の低下	27.2%	33.5%	30.4%	31.5%	35.8%
個人消費の低迷	4.7%	4.3%	5.4%	2.8%	3.8%
販売先の減少	11.5%	10.0%	8.8%	9.6%	9.4%
大型店の進出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	0.9%	1.0%	0.5%	0.6%	2.8%
民間工事の減少	0.9%	2.4%	2.5%	1.1%	4.2%
仕入単価の上昇	52.3%	48.8%	50.0%	54.5%	47.6%
円安の影響	20.0%	16.7%	13.7%	12.9%	10.4%
円高の影響	1.7%	1.9%	2.5%	2.2%	2.4%
代金回収困難	0.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%
諸経費の増加	21.7%	20.6%	19.6%	24.7%	23.6%
従業員(含、臨時)が過剰	1.7%	1.4%	1.0%	2.2%	0.5%
従業員(含、臨時)が不足	25.5%	23.4%	21.6%	16.9%	19.8%
設備不足・老朽化	18.3%	19.1%	24.0%	24.7%	18.4%
特になし	5.5%	4.3%	6.4%	2.8%	1.9%

経営上の問題点

建設業

前期と比較して、「売上不振」「従業員が不足」が増加し、「受注単価の低下」「収益率の低下」「仕入単価の上昇」が減少した。売上が回復した一方、仕入単価の上昇が一服し、収益性がやや改善したとみられる。

	R6年4～6月 n=170	R6年7～9月 n=157	R6年10～12月 n=172	R7年1～3月 n=140	今回調査 n=139
売上不振	20.6%	21.0%	23.8%	18.6%	27.3%
受注単価・販売価格の低下	13.5%	13.4%	7.0%	15.7%	11.5%
収益率の低下	25.9%	24.2%	24.4%	32.1%	25.2%
個人消費の低迷	5.9%	5.1%	5.2%	7.9%	3.6%
販売先の減少	5.9%	5.1%	5.8%	6.4%	5.8%
大型店の進出	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	10.6%	7.0%	12.2%	12.9%	15.8%
民間工事の減少	14.1%	15.9%	15.7%	13.6%	15.1%
仕入単価の上昇	60.6%	53.5%	51.7%	57.1%	49.5%
円安の影響	9.4%	6.4%	2.9%	2.1%	2.2%
円高の影響	3.5%	3.2%	1.2%	1.4%	0.7%
代金回収困難	2.4%	3.8%	2.9%	1.4%	1.4%
諸経費の増加	26.5%	26.8%	22.1%	25.7%	21.6%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.0%	1.2%	0.7%	0.7%
従業員（含、臨時）が不足	50.0%	47.1%	48.3%	42.9%	48.2%
設備不足・老朽化	7.1%	7.0%	5.2%	6.4%	7.2%
特になし	4.1%	4.5%	6.4%	4.3%	5.0%

小売業・卸売業

「売上不振」「販売単価の低下」「諸経費の増加」が増加し、「仕入単価の上昇」「個人消費の低迷」が減少した。売上の状況が芳しくない状況で仕入単価の上昇が高止まりしている。

	R6年4～6月 n=148	R6年7～9月 n=123	R6年10～12月 n=121	R7年1～3月 n=109	今回調査 n=98
売上不振	38.5%	34.1%	41.3%	33.9%	43.9%
受注単価・販売価格の低下	3.4%	8.1%	6.6%	3.7%	7.1%
収益率の低下	28.4%	20.3%	28.9%	26.6%	25.5%
個人消費の低迷	30.4%	31.7%	24.8%	33.0%	28.6%
販売先の減少	12.2%	20.3%	13.2%	15.6%	14.3%
大型店の進出	2.0%	0.8%	2.5%	4.6%	2.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	0.0%	0.8%	0.8%	1.8%	0.0%
民間工事の減少	2.0%	4.9%	0.0%	0.9%	2.0%
仕入単価の上昇	45.3%	47.2%	43.0%	50.5%	42.9%
円安の影響	19.6%	13.8%	12.4%	16.5%	13.3%
円高の影響	4.7%	0.8%	5.0%	1.8%	4.1%
代金回収困難	1.4%	1.6%	2.5%	0.9%	1.0%
諸経費の増加	23.6%	24.4%	18.2%	18.3%	24.5%
従業員（含、臨時）が過剰	0.7%	0.8%	2.5%	0.9%	2.0%
従業員（含、臨時）が不足	14.9%	22.0%	22.3%	22.9%	20.4%
設備不足・老朽化	7.4%	13.0%	9.9%	12.8%	8.2%
特になし	4.7%	4.1%	3.3%	2.8%	5.1%

経営上の問題点

飲食業・サービス業

「従業員が不足」が増加し、「売上不振」「収益率の低下」「仕入単価の上昇」が減少した。売上や収益性がやや持ち直しており、消費の回復とともに人手不足が続く可能性がある。

	R6年4~6月 n=324	R6年7~9月 n=334	R6年10~12月 n=337	R7年1~3月 n=300	今回調査 n=321
売上不振	24.1%	29.6%	27.0%	34.0%	30.2%
受注単価・販売価格の低下	6.8%	6.6%	5.0%	7.3%	5.9%
収益率の低下	26.9%	27.2%	29.4%	30.0%	25.5%
個人消費の低迷	15.1%	15.6%	16.3%	16.3%	15.3%
販売先の減少	8.6%	6.3%	6.8%	5.7%	6.9%
大型店の進出	0.6%	0.0%	0.9%	0.7%	0.6%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	0.9%	1.5%	1.2%	2.0%	1.6%
民間工事の減少	2.5%	2.4%	0.6%	0.7%	1.6%
仕入単価の上昇	35.2%	27.8%	35.0%	37.0%	32.1%
円安の影響	9.9%	8.1%	6.5%	6.7%	4.0%
円高の影響	1.5%	2.4%	1.2%	1.3%	1.2%
代金回収困難	1.9%	1.5%	0.9%	2.3%	2.2%
諸経費の増加	30.9%	27.8%	31.5%	32.7%	34.3%
従業員（含、臨時）が過剰	2.2%	0.9%	0.6%	1.7%	0.9%
従業員（含、臨時）が不足	31.5%	32.9%	35.3%	28.7%	31.8%
設備不足・老朽化	12.3%	15.6%	13.9%	13.0%	15.6%
特になし	12.0%	12.3%	9.5%	8.0%	9.7%